

令和6年度

大島町教育委員会の権限に属する事務の
管理及び執行の状況の点検・評価報告書
(令和5年度分)

令和6年11月

東京都大島町教育委員会

— 目 次 —

I	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について……………	1
	1 点検及び評価の趣旨	
	地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)	
	2 点検及び評価の方法	
II	大島町の「教育目標」と「目指す子供像」……………	2
	1 大島町の教育目標	
	2 大島町が目指す子供像	
	3 大島町の「教育目標」と「目指す子供像」の実現に向けて	
	(1)大島町の学校教育	
	(2)大島町の世界教育	
	4 重点事項	
	(1)学校教育	
	①から⑥項目記載	
	(2)世界教育	
	①から⑦項目記載	
III	大島町教育委員会の令和5年度の主な活動の概要……………	9
IV	大島町教育委員会の教育施策に基づく令和5年度主要施策の点検 及び評価について……………	11
V	事務評価委員(有識者)からの意見……………	48

I 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について

1 点検及び評価の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することとされています。

本報告書は、効果的な教育行政の推進を図るとともに、町民への説明責任を果たすために、令和5年度の大島町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、大島町教育委員会事務評価委員会の意見等を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律(関連条文抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員員等等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

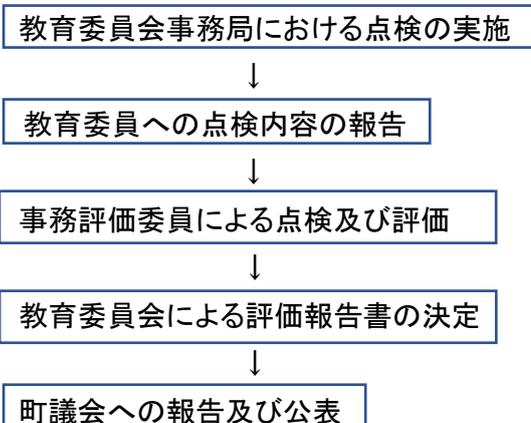
2 点検及び評価の方法

(1) 点検及び評価の対象

点検及び評価は、大島町教育委員会が執行している事務・事業のうち、「大島町教育施策大綱」(令和3年4月改定)に掲げた施策に基づく各事業を中心に実施しました。

(2) 点検及び評価の手順

令和6年4月から令和6年9月にかけて、令和5年度に大島町教育委員会において執行した事務について、次の手順で点検及び評価を行いました。



Ⅱ 大島町の「教育目標」と「目指す子供像」

1 大島町の教育目標

健全な子供たちを育成するために必要な家庭、学校及び地域の連携は、これら三者がそれぞれの責任を確実に果たすことで実現されるものです。このような基本的な考えに基づき、すべての町民が子供たちの教育に参加することを目指していきます。

このことを実現するために、大島町の教育においては町民の生涯にわたる学習を重視するとともに、次の①から③に示された人間の育成を目指しています。

- ①互いに人格を尊重し、思いやりと規範意識のある人間
- ②社会の一員として、社会に貢献しようとする人間
- ③自ら学び考え行動する、個性と創造力豊かな人間

2 大島町を目指す子供像

大島の未来を担う子供たちを育成するために、大島町では子供たちの教育をより充実させ、すべての子供たちが逞しく成長していくことを目指し、その目標となる子供の具体的な姿を「大島町を目指す子供像」として示しています。

一、「夢」の実現を求める子供

未来の自分をより良い自分とするために、今の自分自身を真剣に見つめて成長のための努力を重ねる子供の育成を目指します。

一、「命」を大切にすること子供

すべての「命」あるものに対する思いやりの心をもつとともに、自分が様々な命の係わりの中で生かされていることに感謝し、自らの行動をより良いものにするよう心がける子供の育成を目指します。

一、「国際的視野」を持って行動できる子供

グローバル化する国際社会に向けて、主体的に考え、国際的な創造力を持って世界を舞台に活躍できる子供の育成を目指します。

一、郷土大島を「誇り」とする子供

国立公園でもある郷土大島の価値ある一員となるべく進んで自己を鍛えるとともに、故郷大島に常に誇りをもって生きることのできる子供の育成を目指します。

3 大島町の「教育目標」と「目指す子供像」の実現に向けて

(1)大島町の学校教育

近年、出生数の減少や離婚率の増加など子供たちを取り巻く教育環境は大きな変化を遂げ、人間形成の土台となる家庭環境や生涯学習社会における教育の場である社会環境にも多大な影響を与えています。さらに高度情報化社会の急激な進展は、必要な情報が瞬時に手に入るという利便性ある生活を実現する一方で、子供たちにとって必要のない不健全な情報までもが日常生活の中に氾濫し、大きな社会問題となっています。

子供たちを取り巻くこのような社会の変化が、いじめや虐待、校内暴力、家庭内暴力そしてひきこもりなどの不適応行動の増加につながり、人間関係を希薄化する要因の一つとなります。また、特別な支援を必要とする子供たちへの対応も今後さらに充実させていく必要があります。誰もが相互に人格と個性を尊重し支え合い、多様なあり方を相互に認め合える共生社会の形成を目的にインクルーシブ教育を推進します。

学校教育においては、このような子供たちの実態に常に目を向け、家庭や地域の教育力の向上を目指します。郷土大島を愛する心の育成をはじめ未来を担う子供たちの人間形成の場である学校として、子供たち一人ひとりの個性を重視しながら、「学力の三要素」（「基礎的な知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」及び「主体的に学習に取り組む態度」）の育成を重視した教育を実施することを通して、すべての子供たちに「生きる力」を確実に身に付けさせることができるよう教育力の向上に努めます。

これからの社会を創り出していく子供たちが、社会や世界と向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力とは何かを、教育課程において明確にし育んでいくことが重要であります。ICT教育やプログラミング教育及び情報教育、外国語科を通して未来を見据え、加えてSDGsの取組や国際的な視野と創造力の醸成を図ります。

大島町としては、このような学校教育を適切に進めるために、教員研修の充実を図り教育的な使命感と豊かな指導力を兼ね備えた教員の育成と地域に開かれた学校を目指し、住民の学校教育への参加を進めます。

(2)大島町の社会教育

現代は生涯学習社会の時代であると指摘されています。21世紀を生きる子供たちはもちろん、私たち大人一人ひとりも学校で身に付けた知識や技能だけで自己実現を図ることは大変厳しい時代となり、子供も大人も生まれてから一生学び続けることができる環境が求められています。子供から大人まで町民のだれもが一生涯にわたって学び続けることができ、町民一人ひとりが住んで良かったと思える大島町を目指します。

今日、社会経済情勢の大きな変化及び加速化する少子高齢化の中で、大島町においても子供から高齢者までの心の通い合う地域社会を創り出すことが求められています。

そのために町民が様々な機会を捉えて主体的に学ぶことで、その個性や能力を伸ばせる環境を整えます。そして町民一人ひとりがその個性や能力を地域社会の中で生かし、町民同士で互いに高め合い成長し合う状況が日常的に生まれる環境づくりに努めます。また大島町体育祭をはじめ各種行事の実施により、運動したいときに運動できるよう健康増進の環境づくりも推進します。そのような中で、2020 東京オリンピック・パラリンピック開催後のレガシーとして、オリンピック・パラリンピック教育活動を継続・発展させ、共生・共助社会を担う子供たちの育成を図ります。

4 重点事項

先端技術の高度化や Society5.0時代の到来、また新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、社会のあり方そのものがこれまでと劇的に変わる状況が生じつつあります。大島町ではさらに、少子高齢化の進展、家族形態の変容などの社会構造の変化、価値観、ライフスタイルの多様化などによる親近感の希薄化が生じ、それに伴い郷土愛も薄れつつあります。変化が激しく予測困難な時代の中でも通用する確かな学力を身に付けるためには、子供たちが自分の良さや可能性を認識して個性を生かしつつ、他者を尊重し協働しながら様々な課題を解決していくことが重要です。

以上のことを踏まえ、大島町教育委員会は、大島町立すべての学校に対して、「郷土大島への誇りを胸に、自他の命を輝かせる子供の育成」と「共生社会の形成」に向け、社会に開かれた教育を推進します。

(1) 学校教育

① いじめ防止対策の推進

いじめは、どの学校でもどの子供にも起こり得る可能性があり、根本的ないじめの問題を解決するためには、全ての児童・生徒を対象としたいじめの未然防止が重要です。そのためには、いじめを生まない土壌づくりに努め、自分の大切さとともに他の人の大切さを認める子の育成を目指し、「人権教育全体計画及び年間指導計画」を見直し充実を図ります。また、学校いじめ防止基本方針が学校の実情に即して適切に機能しているか否かについての点検を行うとともに、いじめ対策として進められている取組が効果的なものになっているかどうか検証を行います。

② 特別な配慮を必要とする児童・生徒への指導

特別な配慮を必要とする児童・生徒は増加しており、多様な実態を踏まえ、一人ひとりが抱える課題に個別に対応していく必要があります。

学習指導要領の「第1章総則第4児童(生徒)の発達の支援2特別な配慮を必要とする児童(生徒)への配慮」を踏まえ、特別支援教育の充実に関わることと不登校児童・生徒への配

慮に関わることを教育課程に示し、共生社会の形成とインクルーシブ教育を推進します。

③防災教育の推進

防災教育は単なる知識の伝達だけでなく、危機意識の醸成、共助の意識の醸成、実践的な訓練の実施、情報の共有と普及が重要です。大島町の防災の手引きを活用し、地域における災害の特性への理解を深め、防災教育の充実を図ります。

④健康教育の推進

心身の健康の保持増進を図るために必要な知識及び態度の習得に関する教育として、さまざまな観点からいのちの大切さを考える健康教育を推進します。なお、中学校第2学年では、外部講師による「がん教育」を推進します。

⑤地域の特色を生かした教育活動

大島は、日本ジオパークの一つとして認定されてから13年が経過しました。火山島として、科学的に重要で貴重な地質・地球資源と、自然・生体、歴史・文化等が適切に保存活用されている地域として認定されています。

このような豊かな地域の物的資源や人的資源等を総合的な学習の時間を中心とする教育活動に積極的に取り入れ、児童・生徒に大島への誇りを醸成する教育の充実を図ります。

⑥その他

・情報活用能力の育成を図るため、コンピュータ等の機器の整備・充実を進めるとともに、民間企業及び大学等と連携し情報教育を推進します。また、インターネットやメール・SNS(ソーシャルネットワークサービス)等を適正に利用できる能力と態度が養われるよう推進します。

・社会的・職業的自立の基盤となる能力等を育むため、「職業体験学習」の一層の充実を図るなど発達段階に応じた指導を推進するとともに、関係諸機関との連携を深めてキャリア教育の充実を図ります。

・学校教育法に規定する大学、高等専門学校若しくは高等学校、専修学校に在学し、成績優秀、心身健全にして、かつ、経済的事由により修学困難な場合、修学上必要な学資金として大島町奨学資金貸付を実施し、有用な人材育成を推進します。また、姉妹島であるハワイ島「ヒロ大学」又は「ハワイコミュニケーションカレッジ」に留学を希望する生徒に対して、大島町姉妹島「ハワイ島」留学奨学資金貸付を実施し、国際社会で活躍できる有能な人材育成を図ります。

・大島の将来を担う子供たちの健やかな心と体の育成を目指すとともに、「地産地消」の一環として郷土大島への理解を深める観点からも、学校給食の充実を図ります。また、子育てに「やさしいしま」の実現を目指し、児童・生徒の給食費の無償化を図ります。

・突発的な災害等の発生時、適切で迅速な対応が出来るよう学校の安全管理の推進を図ります。

(2) 社会教育

① 学び合い・ふれあうコミュニティの充実

・コミュニティ活動を充実させるために、青少年委員、婦人会、青年団等との連携を図り、各種の活動を推進します。

・町民の高齢化に対応し、公民館や文化会館などの施設を修理・改善し、その有効利用を引き続き促進します。

・社会のあらゆる場面において、生活の質や心の豊かさが求められ大切にされるように変わってきています。世の中が生み出す大量の情報の中から必要な知識を選び生かしていく時に、図書館が果たす役割はきわめて大きいものがあります。人と本、人と人との出会いの場を提供し、温かさややすらぎ、そしてやさしさを大切にし、町民一人ひとりが生涯にわたって学べる場所である図書館の充実を図ります。

・ジオパークを活用し、国内にある他のジオパークとの交流を推進するとともに、各種体験学習や交流事業等を行うことにより、グローバルな視野で物事を捉え、地域の課題を解決できる資質を持つ人材を育成します。

② 生涯学習の充実と芸術・文化・スポーツの振興

・家庭・学校・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、すべての町民が生涯を通じて自ら学び、自ら文化・スポーツに親しみ主体的に社会参加できる機会の充実を図ります。

・大島に伝わる有形・無形の文化財の保護に努め、文化財の公開・活用や継承を進めて自らの郷土である大島への郷土愛を育むとともに、広く世界の人々やその文化をも尊重し、協働して生きていくことができるよう多様な活動の機会や場の創出を図ります。また、都民芸術フェスティバルへの参加の助成や各地区での郷土芸能の保存と継承への支援を行い、古歌や手踊りなどの島の伝承文化の保護育成を図ります。

・芸能大会、作品展等を開催し、日頃の文化活動の成果を披露する機会や作品展示の場を提供するとともに、町民相互の交流を深めその充実を図ります。

・大島の日常生活では直接触れることの少ない芸術文化等に親しむ機会を設定するとともに、芸術文化意識の向上を図るため演奏会や寄席、演劇、講演会等の開催やその後援を行い、芸術文化活動の充実と文化団体等の育成を図ります。

・(仮称)大島町屋内運動施設建設検討の答申結果を踏まえ、すべての町民が身近な場所で気軽に楽しめる施設を整備し、スポーツ・レクリエーションの一層の振興を図ります。

・東京都オリンピック・パラリンピックのレガシーについては、共生社会の形成に向けて「未来の東京」「未来の大島」の担い手となる人材育成することを目指し、引き続き、東京都オリンピック・パラリンピック教育を推進します。

・スポーツアスリート等の招聘に努めスポーツの振興を図るとともに、指導者の育成や地域のスポーツクラブの充実を図ります。また、ユニバーサルなスポーツの普及と環境を整えるとともに、誰もがスポーツを楽しめる、「スポーツアイランド大島」を創り上げていきます。

③文化財の保護と活用

・先人の残した貴重な文化遺産を後世に伝えていくために、郷土資料館のリニューアルを検討し、古民家の維持等その保護・保全に万全を期しながら、広く一般に公開するなど文化財の保護・継承に努めます。

・町の指定による文化財の保護・保存を推進します。また、多くの資料、写真資料等を図書館に集約し、合わせてデータ化も進めます。

・大島町の文化財の調査・整備においては、文化財保護審議会委員等と連携し後世に残せるよう整理し、将来へ向けての保存を視野においた施設建設を検討します。

④青少年の健全育成

・少年少女スポーツの普及の一助となるよう引き続きその活動費、遠征費の助成を実施します。

・青少年委員等と連携し、青少年健全育成地域いきいき事業の推進、雪国体験学習や二十歳を祝う会の開催を継続します。

・大島体育協会と連携し、多くの子供たちがスポーツに親しみ、楽しんでもらえるようジュニアスポーツフェスティバルの開催を継続します。

⑤婦人活動の推進

・婦人の活動は古くから地域の支えとなっており、明るい町づくりを推進するためにも婦人が活動しやすい環境を構築します。

・公民館運営審議会、図書館協議会委員、スポーツ推進委員、社会教育委員等に女性委員を積極的に登用し、婦人が地域社会で広く活動できるよう努めます。

⑥島外生徒受入事業の推進

・都立大島高校の活性化、生徒の学力向上、大島の将来を担う新たな人材確保を目的に、島外からの生徒(留学生)を受け入れます。生徒(留学生)の生活拠点として、令和6年度から寮(学生寮)を建設し、令和8年度から生徒(留学生)の受入を開始します。

⑦その他

・(仮称)大島町屋内運動施設建設計画、大島町野球場の整備、大島町陸上競技場の整備、伊豆大島ゲートボール場の整備、各地域センターの整備、災害時におけるグラウンド及び体育館の避難所としての活用等に努めます。

Ⅲ 大島町教育委員会の令和5年度の主な活動の概要

(1) 教育委員会の構成

(令和6年3月31日現在)

職名	氏名	任期
教育長	谷口 淨	自 R4.7.1 至 R7.6.30
教育長職務代理者	山田 三正	自 R2.10.1 至 R6.9.30
委員	井島 吉春	自 R3.10.1 至 R7.9.30
委員	山本 忠夫	自 R4.10.1 至 R8.9.30
委員	宮本 里香	自 R1.10.1 至 R5.9.30
委員	秋田 幸重	自 R5.10.1 至 R9.9.30

(2) 教育委員会の開催

① 開催状況

開催	開催日	区分	出席者数	開催	開催日	区分	出席者数
第1回	R5. 4.17	定例	10名	第7回	R5.10.13	定例	10名
第2回	R5. 5.16	定例	9名	第8回	R5.11.16	定例	9名
第3回	R5. 6.19	定例	10名	第9回	R5.12.19	定例	9名
第4回	R5. 7.11	定例	10名	第10回	R6. 1.18	定例	8名
第5回	R5. 8.16	定例	9名	第11回	R6. 2.22	定例	10名
第6回	R5. 9.22	定例	9名	第12回	R6. 3.21	定例	9名

② 教育委員会審議案件

開催日	議案番号	件名	結果
R5.7.11	2	令和2年度 奨学資金貸付変更について	可決
R5.8.16	3	令和6年度大島支庁管内教科用図書採択結果について	〃
R5.11.16	4	令和6年度学期及び休日並びに式典の日程について	〃
R6.3.21	1	令和6年度大島町奨学資金貸付新規申込者の審査について	〃

(3)教育委員会だより「啐啄」の発行

規 格	発行回数	発行部数	備 考
A4判 6頁	計1回	4,000部	第22号 令和6年3月1日刊行

(4)教育委員会の出張

① 教育委員の管外出張

件 名	場 所	日 程	職 名
なし			

② 教育長の管外出張

件 名	場 所	日 程
令和5年度第1回東京都島しょ町村教育委員会教育長協議会	東京	R5.4.19～ R5.4.21
令和5年度小中学校公募説明会出席	東京	R5.7.27～ R5.7.30
「愛らんどリーグ 2023」来賓出席	東京	R5.7.27～ R5.7.30
令和5年度第61回東京都へき地教育研究協議会定期総会出席	東京	R5.8.1～R5.8.3
令和5年度公立小中学校教員公募説明会出席	東京	R5.8.1～R5.8.3
令和5年度第2回東京都島しょ町村教育委員会教育長協議会及び令和6年度東京都教育予算編成に対する要望活動	東京	R5.8.23～ R5.8.26
令和5年度島しょ町村教育委員会教育長一行先進教育視察	東京	R5.8.23～ R5.8.26
令和5年度島しょ地区公立小中学校教員公募面接選考	東京	R5.11.5～ R5.11.8
令和6年4月1日異動に係るヒアリング出席	東京	R5.12.1～ R5.12.2
第73回東京都公美展見学及び令和5年度第3回島しょ町村教育委員会教育長協議会出席	東京	R6.2.13～ R6.2.16

IV 大島町教育委員会の教育施策に基づく令和5年度主要施策の点検及び
評価について

1. 学校教育係実施事業

(1) 学校教育係実施事業

事業名	内容	事業費
小中学校連合音楽会	小学 5・6 年生、中学 1・2 年生による 合唱・合奏発表会 ・12 月 5 日実施 ・開発総合センター大集会室にて開催 (新型コロナウイルス感染症対策のため、小中 を午前・午後の2部に分けて開催)	249,810 円 消耗品費 3,190 円 バス借上料 246,620 円
小中学校連合作品展	小中学生の合同作品展開催 ・1 月 19 日～23 日 ・来場者数約 1,000 名(児童・生徒数 含む) ・つばき小学校体育館にて開催	373,660 円 消耗品費 29,800 円 バス借上料 343,860 円
小中学生作品集「めっかり」 第 60 号発行	小中学生による作品集「めっかり」の 編集・発行 ・発行部数 180 部 ・販売部数 116 部 ・配布部数(学校・公共機関等)54 部	352,000 円 印刷製本費 352,000 円

通学バス運行管理事業	遠距離通学となる小学生を対象とした 通学バスの運行	23,028,189 円	
	・通学バス運行委託業者 一般社団法人大島タクシー協会	消耗品費 15,820 円 燃料費 1,469,599 円 修繕料 1,702,649 円	
	・バス所有台数 28 人乗り 4 台、14 人乗り 4 台	手数料(車検他) 66,600 円	
	・運行日数 つばき小学校 212 日	自動車損害保険料 370,940 円	
	さくら小学校 213 日	委託料	
	つつじ小学校 214 日	19,236,481 円 公	
	第一中学校 168 日	課費(重量税)	
	その他(臨時便等) 88 日	166,100 円	

【成果】

スクールバスに置き去り防止のための安全装置を設置し、対策を講じることができた。

【課題と今後の方向性】

バスの老朽化により、故障が増えていくことを想定し、運行に支障がでないよう計画的に修理や購入を行う。

(2) 職員の管外出張

件名	場所	日程	職名
令和5年度小中学校教員公募説明会出席(区部・島しょ地区)	東京	R5.7.27～R5.7.29	参事
令和5年度小中学校教員公募説明会出席(島しょ地区)	東京	R5.8.1～R5.8.3	参事
令和5年度島しょ地区公立小中学校教員公募面接選考	東京	R5.11.5～R5.11.7	参事
電気通信大学との打ち合せ(町長・教育長随行)	東京	R6.2.13～R6.2.14	参事
教員服務事故に係る聴取出席	東京	R6.3.27～R6.3.29	参事

(3) 特別支援教育推進委員会

開催	開催日	内容
第1回	R5.6.19	・会長及び副会長の選出 ・研修等予算について ・情報・意見交換
第2回	R5.10.20	・第2回研修会打合せ ・情報意見交換
第3回	R6.3.7	・研修等報告について ・一年間の取組内容検証 ・特別支援学級・教室の紹介と進路に関するリーフレットについて

(4) 特別支援教育推進委員会研修会

開催	開催日	内容
第1回	R5.10.20	・研修会「WISC-Vの結果をどのように見取り、支援していくか」 講師：明星大学 発達支援研究センター 公認心理師 臨床心理士 小笠原 哲史 氏
第2回	R6.1.25	・研修会「WISC-Vの結果をどのように見取り、支援していくか」 講師：明星大学 発達支援研究センター 公認心理師 臨床心理士 小笠原 哲史 氏

【成果】

保育士・小・中・高等学校教員・福祉関係機関職員、約45名が参加し研修会を実施した。
特別な支援が必要な児童・生徒への知識を教員間、関係機関と共有し学ぶことができた。

【課題と今後の方向性】

特別な支援を必要とする児童・生徒のニーズを把握し、支援の質の向上と適切な支援の推進を図る。

(5) 就学支援委員会

開催	開催日	内容
第1回	R5.7.11	・会長及び副会長の選出 ・今年度の就学支援委員会について ・各校情報交換 ・その他
第2回	R5.12.19	・特別支援教室の入室審査・判定について ・情報交換
第3回	R6.3.11	・特別支援教室の入室・退室・延長審査・判定について ・通級指導学級入級審査・判定について ・情報交換 ・その他

【成果】

特別支援学級・通級指導学級・特別支援教室への入退級室を希望する児童・生徒 33 名の審査・判定を実施した。学校担当者、WISC検査、教育相談室相談員、社会福祉総合相談員等による説明、見立てを基に的確な判断ができています。

【課題と今後の方向性】

特別な支援を必要とする児童・生徒の情報収集に努め、適正な就学支援及び指導を行うための審査・判定を行う。

(6)教育相談推進委員会

開催	開催日	内容
第 1 回	R5.4.13	・会長及び副会長の選出 ・年間計画の確認 ・第 1 回研修会及び第 2 回研修会の運営分担について ・その他
第 2 回	R5.8.25 (中止)	
第 3 回	R6.1.16	・令和5年度のまとめ ・令和6年度の年間活動計画について

○教育相談研修会、講演会の実施

開催	開催日	内容
第 1 回	R5.5.18	・研修会「大島町教育相談室の紹介」 講師：大島町教育相談室 室長 川島 郁雄
第 2 回	R5.8.25 (中止)	
第 1 回	R5.10.18	・講演会「子どものやる気を引き出す魔法の質問」 講師：しつもん財団 認定講師 野末 岳宏 氏

【成果】

新たに大島町へ赴任してきた教員向け研修を実施した。(参加者 20 名)大島の歴史文化、風土及び防災等を学ぶ良い機会となっており、今後の児童・生徒の指導に生かしていくことが期待される。保護者、小・中・高教員、保育園・関係機関職員、地域の方を対象に PTA 連合会と共催で講演会を開催した。(参加者 70 名)グループワーク、ロールプレイを通して、効果的な質問の仕方、褒めることの大事さなど多くの気付きがあり、保護者、教員等、互いの子供に対する共通理解が深まった。

【課題と今後の方向性】

引続き児童・生徒の健全な成長と発達を支援するため、研修会・講演会により知識向上を図り教育相談体制の充実を図る。

(7)大島町生活指導連絡協議会

開催	開催日	内容
第1回	R5.4.10	・新学期・各学校からの連絡、情報交換 ・大島警察からの連絡等 ・その他
第2回	R5.7.4	・各学校からの連絡、情報交換 ・夏季休業中の取り組みについて ・大島警察からの連絡 ・その他
第3回	R5.9.7	・各学校の情報交換・諸連絡 ・夏休み中の状況について、2学期の主な予定について ・大島警察からの連絡等 ・その他
第4回	R5.12.8	・いじめ防止について ・各学校の情報交換・諸連絡 ・冬季休業中の取り組みについて ・大島警察からの連絡等 ・その他
第5回	R6.1.12	・いじめ防止について ・各学校の情報交換・諸連絡 ・冬季休業中の取り組みについて、3学期の主な予定について ・大島警察からの連絡等 ・その他

第6回	R6.3.1	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止について ・各学校の情報交換・諸連絡 ・春季休業中の取り組みについて ・大島警察からの連絡等 ・その他
-----	--------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【成果】

児童・生徒の日常生活及び長期休業中の生活指導について、共通指導及び迅速な対応ができるよう、連絡会を年6回開催し各学校間の情報交換を行った。小・中他校の状況や高校の様子などを参考に、自校の取組に生かしていこうという姿勢が見られていた。

【課題と今後の方向性】

引続き学校及び家庭等での生活状況の情報交換を行い、適正な指導ができるよう連携を図って行く。

(8) 学力向上推進委員会

開催	開催日	内容
第1回	R5.5.29	<ul style="list-style-type: none"> ・委員紹介 ・会長、副会長の任命 ・令和5年度の取組についての提案・協議 ・意見交換
第2回	R6.2.20	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度の取組状況報告 ・令和6年度の取組予定について ・意見交換

【成果】

B分科会(授業方法開発委員会)を年11回開催した内の6回、大学教授等の講師を招聘し各校で研究授業を行い、児童・生徒に必ず身に付けさせたい学習の指導方法について研究した。また、ICTの活用を通して「児童の思考を促す協働的な学びの実践」「問題解決のための読解力の育成と表現の充実」について、一年間の研究成果を学力向上推進委員会で発表した。

【課題と今後の方向性】

研究に各校でその後の深まりや高まりが見られない、効果的に浸透していない等の課題があり、総体的に成果が上がっていないことから、令和6年度より小中学校各1校を推進校に特化して学力向上を推進していく。

(9)結核対策委員会

開催	開催日	内容
第1回	R5.9.13	・委員長、副委員長選出 ・結核検診実施状況について ・結核対策委員会廃止の決定

【成果】

令和5年9月19日付けで大島町立学校結核対策委員会設置要綱を廃止した。

【課題と今後の方向性】

今後は「学校における結核対策マニュアル」(平成24年3月文部科学省)に基づき、保健所と連携を取りながら結核対策を実施する。

(10)養護教諭会

開催	開催日	内容
第1回	R5.4.11	・関係諸機関あいさつ ・関係諸機関及び各学校月例報告 ・保健事務年間計画等
第2回	R5.5.9	・月例報告 ・保健行事、保健事務検討事項について
第3回	R5.6.6	・月例報告 ・保健行事実施報告等
第4回	R5.7.4	・月例報告 ・保健行事実施報告、反省 ・校務支援システムについて
第5回	R5.9.12	・月例報告 ・教職員健康診断、就学時健康診断について
第6回	R5.10.6	・月例報告 ・マラソン前臨時健康相談について ・結核対策委員会の廃止について
第7回	R5.11.10	・月例報告 ・就学時健康診断について
第8回	R5.12.7	・月例報告 ・次年度健康診断等について ・大島医療センター、教育長との懇談会について

第9回	R6.1.11	・月例報告 ・脊柱側湾検診について
第10回	R6.2.8	・月例報告 ・次年度健康診断日程等について
第11回	R6.3.12	・月例報告及び年間報告 ・次年度各事項連絡 ・水泳前臨時健康相談の内科健診との統合について

【成果】

8月を除いて毎月開催し、情報共有や課題の抽出・解決を行った。

【課題と今後の方向性】

情報共有や課題の検討だけでなく、学校保健関係の有識者を招いた勉強会や研修も実施し、養護教諭会を更に充実させていきたい。

(11)めっかり編集委員会

開催	開催日	内容
第1回	R5.12.18	・委員長選出、実施状況及び今後の日程確認ほか
第2回	R6.1.15	・編集作業(原稿・カット集の提出)

【成果】

島内の小中学校児童・生徒の文章作品を形として残すことができた。

【課題と今後の方向性】

卒業しても当時の思い出を振り返ることのできる一冊となっている。今後とも児童・生徒の意欲を高めるためにも、委員会を開き、内容の検討を続けていく。

(12)連合音楽会

開催	開催日	内容
第1回	R5.7.21	・第38回実施に向けての日程計画、確認等
第2回	R5.10.11	・第38回実施に向けての日程計画、確認等
第3回	R6.2.9	・反省及び今後の検討事項について ・次年度日程調整

【成果】

小中学校 2 部門に分けた音楽会を開催し、島内各小中学校で互いに日頃の練習の成果を披露した。

【課題と今後の方向性】

録画したデータを音楽会后に各学校へ配信したが、小学校の映像を中学校が見ることの意義に関して疑問があるという意見があった。改めて議論を重ねていく必要がある。

(13)連合作品展

開催	開催日	内容
第 1 回	R5.7.18	・日程確認、会場・予算について ・実施に向けての各種事項確認
第 2 回	R5.12.18	・日程確認、会場・予算について ・実施に向けての各種事項確認
第 3 回	R6.3.13	・連合作品展反省及び今後の検討事項について ・次年度日程調整

【成果】

島内小中学生による連合作品展の開催は、島内の行事の一つとして多くの人が参観しており、児童生徒の図工・美術に大きな関心を高め授業への刺激となっている。

【課題と今後の方向性】

新型コロナウイルス感染症が下火となり、より開かれた開催が可能となった。今後とも児童・生徒の意欲を高めるためにも、開催方法等の検討を続けていく。

(14)情報教育推進委員会

開催	開催日	内容
第 1 回	R5.4.24	① 新年度委員挨拶 ② 統合型校務支援システムの導入について ③ WSUS サーバリプレイスについて ④ 今年度の開催日時について
第 2 回	R5.6.13	① タブレット等の活用状況について

		② WSUS サーバリプレイスの日程について ③ 統合型校務支援システムの導入について ④ その他
第 3 回	R5.9.12	① WSUS サーバリプレイスについて ② 統合型校務支援システムの導入について ③ 今後の開催日時について ④ その他
第 4 回	R5.11.28	① タブレット等の活用状況について ② 統合型校務支援システムについて ③ 今後の開催日時について ④ その他
第 5 回	R6.1.12	① 統合型校務支援システムについて ② 今後の開催日時について ③ その他
第 6 回	R6.2.27	① 今年度の端末の活用状況について ② 統合型校務支援システムについて ③ 学校CMSについて ④ その他 ⑤ 来年度の開催について

【成果】

統合型校務支援システムの導入を行い、令和 6 年度より校務 DX 化を行った。

【課題と今後の方向性】

学校ネットワークの回線が不安定であり、学校 ICT の推進の妨げになってしまっている。令和 6 年度にネットワークアセスメントを実施し、原因究明及び改善策の検討を行い、令和 7 年度には学校ネットワーク回線の安定化を図る。

(15)いじめ問題対策連絡協議会

開催	開催日	内容
第 1 回	R5.4.10	・会長挨拶 ・協議会の説明 ・情報・意見交換
第 2 回	R6.1.25	・中学校いじめ問題発生に関する説明

【成果】

中学校であったいじめ案件について、協議会を開催し内容の経過報告、対応状況及び今後の対応について情報を共有し、いじめ防止、重大事態に発展しないよう協議を行った。

【課題と今後の方向性】

引続き学校、関係機関との連携を密にし、いじめ防止、早期発見及び早期対応の対策の推進のため協議会を開催していく。

(16)教育相談室

① 教育相談室の概要

人員	相談室長:2名 指導員:2名
場所	大島町生涯学習センター・郷2階(令和3年3月より)
開室日	月曜日～金曜日 9:00～17:00(休日、祝日は休み)
実施内容	①教育相談業務 ②適応指導教室(パレット)の運営

② 教育相談室の活動状況

月	教育相談	適応指導		備考
		人数	開室日	
4月	13	38	16	
5月	15	54	20	
6月	23	51	20	
7月	15	28	13	
8月	6	3	3	
9月	11	49	20	
10月	18	30	21	
11月	26	22	21	
12月	12	24	17	
1月	15	24	17	
2月	15	27	18	
3月	10	34	16	
合計	179	384	202	

※教育相談は相談実施数(児童・生徒、保護者、学校教職員、その他関係機関)

※適応指導人数は延べ数

【成果】

教育相談については、滞りなく対応できている。小学生3名、中学生3名を適応指導教室にて指導を行った。小学生1名は、徐々に学校へ登校できるようになり2学期末に退室することができた。

【課題と今後の方向性】

適応指導について、児童・生徒の状況も多様化しているため、心理の専門家をスーパーバイザーとして配置する。

(17)大島町特別支援巡回相談事業

① 特別支援巡回相談事業の概要

構成メンバー	6名(児童精神科医1名、臨床心理士1名、教育相談室相談員2名、社会福祉総合相談担当1名、教育文化課職員1名)
実施内容	①教育相談会の開催(年3回) ②夏休み期間中の知能検査実施 ③臨時知能検査実施

②教育相談会の開催実績

実施内容	区分	人数
春の教育相談会	小学校	6人
	中学校	6人
夏の知能検査実施	小学校	5人
	中学校	3人
秋の教育相談会	小学校	7人
	中学校	4人
冬の教育相談会	小学校	3人
	中学校	1人
臨時知能検査実施	小学校	3人
	中学校	1人
相談件数 (うち知能検査実施件数)	計	39人 (12人)

【成果】

相談件数の増加により教育相談会の日数を増やし年3回8日間実施した。

知能検査については、原則夏休み中に行うこととしているが、希望があり3学期にも実施し特別な支援を必要児童・生徒への適切な早期指導へ繋げることができた。

【課題と今後の方向性】

今後も適宜情報収集を行い、年間を通して発達検査を実施できるよう調整していく。

(18)学校教育運営に対する助成

名 称	金 額(円)
〔学校教育補助〕	
1 校内研究費	223,710
2 学校運営費	220,000
3 大島教育研究会運営費	304,000
4 中体連大島支部運営費	130,000
5 副校長会運営費	18,000
6 中学生代表選手団派遣費	500,500
7 中学校吹奏楽コンクール派遣費	26,000
8 特別支援教育研究会参加費	180,000
9 全国へき地教育研究会参加費補助	84,850
10 東京都小学生科学展参加費補助	0
	計 1,687,060
〔負担金〕	
1 全国連合小中学校長会	46,500
2 東京都小中学校校長会	130,500
3 関東甲信越地区中学校長会	4,500
4 東京都へき地教育研究協議会	23,000
5 島しょ校長会	60,000
6 東京都小中学校教育研究会	132,150
7 東京都特別支援教育研究会	6,480
8 都公立情緒障害研究会	5,400
9 教育相談研究会	2,700
10 東京都特別支援学級設置校長会	8,100
11 全国特別支援学級設置学校長会	3,780
12 東京都教育会	12,000
13 日本教育会	21,600

14 小中学校時報	36,324
15 小中学校副校長会	114,600
16 都公小中事務職員会	27,000
17 東京都養護教諭研究会分担金	12,000
18 負担金及び分担金納入時の手数料	7,180
	計 653,814

【成果】

学校運営や教育活動を行う上で必要な費用を補助することで、教職員の研修会、会議等への参加、生徒の各部都大会への参加等を通して、多種多様な知識、技術、情報等を得て教育活動へ活かしている。

【課題と今後の方向性】

地域的なハンデを補うため今後も補助していくが、常に内容の見直しを行的確な援助としていく。

(19)就学の援助等

① 小学校

【令和6年3月末現在】 準要保護児童 35人 要保護児童 2人

援助項目	人数			援助費(円)
	1学期	2学期	3学期	
学用・通学用品費	32	31	35	423,976
新入学時学用品費	1	0	0	40,600
クラブ活動費	21	20	22	56,226
生徒会費	32	31	35	146,986
PTA会費	32	31	35	108,717
校外学習費	0	0	0	0
移動教室参加費(6年)	0	0	7	136,164
返還金	0	0	0	0
新入学時学用品費(次年度入学予定者) 2月支給			3	121,800
	合計			1,034,469

【令和6年3月末現在】 特別支援学級児童 4人

援助項目	人数			援助費(円)
	1学期	2学期	3学期	

学用・通学用品費	4	4	4	47,775
校外学習費	0	0	0	0
移動教室参加費(6年)	0	0	1	20,212
通学費	1	1	1	50,180
返還金	0	0	0	0
新入学時学用品費(次年度入学予定者)2月支給			0	0
	合計			118,167

② 中学校

【令和6年3月末現在】 準要保護生徒 18人 要保護生徒 0人

援助項目	人数			援助費(円)
	1学期	2学期	3学期	
学用・通学用品費	18	16	18	405,642
部活動費	18	16	18	505,667
生徒会費	18	16	18	93,105
PTA会費	18	16	18	71,580
校外学習費	0	0	3	18,300
修学旅行費	0	0	7	532,450
返還金	0	0	0	0
新入学時学用品費(次年度入学予定者)2月支給			8	379,200
	合計			2,005,944

【令和6年3月末現在】 特別支援学級生徒 2人

援助項目	人数			援助費(円)
	1学期	2学期	3学期	
学用・通学用品費	2	2	2	49,100
新入学時学用品費	0	0	0	0
校外学習費	0	0	0	0
修学旅行費	0	0	2	173,704
交通費	2	2	2	36,400
返還金	0	0	0	0
新入学時学用品費(次年度入学予定者)2月支給			1	47,400
	合計			306,604

【成果】

滞りなく処理した。

【課題と今後の方向性】

特になし。

(20) 修学旅行私費負担の軽減

区 分	補助単価	対象者	補助金額
小学校	5,000 円	53 人	265,000 円
中学校	10,000 円	42 人	420,000 円

・各小学校(6年生) 令和5年6月28日～令和5年6月30日

2泊3日 東京方面

・各中学校(3年生) 令和5年5月11日～令和5年5月14日

3泊4日 京都・奈良方面

【成果】

滞りなく処理した。

【課題と今後の方向性】

特になし。

(21) 遠距離通学費補助

区 間	対象者数	交付回数	補助金額
樫トンネル～さくら小学校入口	4 名	5 回	36,000 円

【成果】

滞りなく事務処理を行いました。

【課題と今後の方向性】

卒業後や転出後の回数券の回収に関して要綱を制定していなかったため、制定する必要があります。

(22)奨学金貸付事業

継続貸付件数	新規貸付件数	支給月額(上限額)	総額
28 件	12 件	60,000 円	24,180,000 円

【成果】

経済的な理由により進学・修学困難な生徒に対し、奨学金を貸与し、支援が図られた。

【課題と今後の方向性】

納付方法が納付書に限られていることや、経済的理由により、納付の遅滞が見られた。令和6年度より納付方法の拡充として口座振替を導入。

(23)ハワイ島留学奨学資金貸付事業

継続貸付件数	新規貸付件数	支給月額	総額
0 件	0 件	0 円	0 円

【成果】

特になし

【課題と今後の方向性】

特になし

(24)健康診断の内容

① 小学校

検診(査)名	実施月	受診(検)数	
内科検診	4月・5月	289人	
耳鼻咽喉科検診	5月・6月	299人	
眼科検診	5月・6月	299人	
歯科検診	5月・11月	308人	
心臓検診	一次	5月・6月	54人
	二次	-	0人
脊柱側弯症	一次	1月	52人
	二次	2月	0人
水泳前検診	5月・6月	163人	

マラソン前検診		10月・11月	286人
就学時健康診断		11月	47人
腎臓検診 (児童)	一次	4月	299人
	二次	4月・5月	47人
	三次	6月	8人
結核検診(教職員)		6月～9月	42人
成人病検診(教職員)		6月～9月	42人
消化器検診 (教職員)	胃一次査	6月～9月	16人
	潜血反応検査 (採取容器含)	6月～9月	24人

② 中学校

検診(査)名		実施月	受診(検)者数
内科検診		4月・5月	132人
耳鼻科検診		5月・6月	137人
眼科検診		5月・6月	137人
歯科検診		5月・11月	133人
心臓検診	一次	5月・6月	56人
	二次	-	0人
脊柱側弯症	一次	1月	50人
	二次	2月	5人
水泳前検診		6月	82人
マラソン前検診		10月・12月	127人
腎臓検診 (生徒)	一次	4月	137人
	二次	4月・5月	32人
	三次	-	14人
結核検診(教職員)		6月～9月	54人
成人病検診(教職員)		6月～9月	54人
消化器検診 (教職員)	胃一次検査	6月～9月	18人
	潜血反応検査 (便採取容器含)	6月～9月	20人

【成果】

健康状態を把握し、スクリーニングすることで、適切な治療への移行及び健康の保持増進が図られた。

【課題と今後の方向性】

当日未受診となった児童・生徒がおり、別の学校で参加するか、別途保護者同伴で医療センターを受診してもらったが、天候状況等により、受診が先延ばしになることがあった。健康診断のお知らせ等により、当日未受診になった場合の対応について、保護者への周知を徹底する。

(25) 日本スポーツ振興センター災害給付状況

日本スポーツ振興センター給付件数及び給付金額

小学校	給付件数	25 件	給付金額	129,069 円
中学校	給付件数	30 件	給付金額	204,706 円

【成果】

学校からの申請を滞りなく処理した。

【課題と今後の方向性】

特になし

(26) 研究授業等

学校名	内 容
つばき小学校	校内研究授業 講師:内藤 信義氏 本橋 大喜氏
さくら小学校	校内研究授業 講師:夢ら丘 実果氏
つつじ小学校	校内研究会 講師:成塚 雅史氏
第一中学校	校内研修 講師:谷井 茂久氏
第二中学校	校内研修 講師:菅本 祐介氏
第三中学校	校内研修 講師:原 郷平氏

【成果】

各校で目的をもって講師を招聘し、研究授業、研修会を行い、児童・生徒の他分野にわたる知識の向上、教員の指導力向上を図ることができた。

【課題と今後の方向性】

今後も地域の人材・資源を活用し社会を学び、持続可能な社会の仕組みづくり、発展を担う人材育成を図る。

(27) 研究発表会・講習会等参加

学校名	内容	参加者
実績なし		

【成果】

実績なし

【課題と今後の方向性】

コロナ禍で自粛していたが、今後は開催方法を検討し効果的に実施していく。

(28) 学力テスト

学校名	内容	対象
つばき小学校	学力検査 CDT(1～3年生2教科、4～6年生4教科、意識調査)実施	1～6年生
さくら小学校	学力検査 CDT(1～3年生2教科、4～6年生4教科、意識調査)実施	1～6年生
つつじ小学校	学力検査 CDT(1～3年生2教科、4～6年生4教科、意識調査)実施	1～6年生
第一中学校	学力テスト(WAT1年1号、WAT2年1号、WAT3年1号)、(WAT1年2号、WAT2年2号、実力完成シート 3年3号)実施	1～3年生
第二中学校	学力テスト(WAT1年1号、WAT2年1号、WAT3年1号)、(WAT1年2号、WAT2年2号、実力完成シート 3年3号)実施	1～3年生
第三中学校	学力テスト(WAT1年1号、WAT2年1号、WAT3年1号)、(WAT1年2号、WAT2年2号、実力完成シート 3年3号)実施	1～3年生

(29) 未来塾

地区	実施日・時間	場所	学習内容
北部 (さくら小)	火曜日・金曜日 15:40～17:00	大島町立さくら小学校 2階(さくらホール)	①宿題(国語・算数) ②漢字や四則計算 等の基礎、基本の定着と向上
中部 (つばき小)	火曜日:14:30～16:00	生涯学習センター・郷	

	但し 2.3 学期:15:30~17:00 00 金曜日:15:30~17:00	2 階(多目的室B)	③理解力や読解力の向上
南部 (つつじ小)	月曜日・木曜日 15:30~17:00	勤労福祉会館 3 階(会議室)	

【成果】

学力テストについては、年2回実施し理解度、個々の課題、指導方法等の指標として活用し、その後の取組に役立てている。

未来塾については、開塾より3年目を迎え利用する児童も増えてきている。学校外での学習時間の定着、基礎、基本の定着、大島の子の苦手とする読解力の向上等に徐々に成果が見られてきている。

【課題と今後の方向性】

引続き小学校低学年から学校外での学習時間の定着を図り、学びの機会を広げ、学習への意欲や関心を高めていく。

未来塾の指導者の確保が難しくなっている。週3日、1日2、3時間、午後2時から午後5時30分までの間で働ける方の確保が容易にできない。

(30)国・都の研究指定校

学校名	種別	事業名	実施内容
さくら小学校	都	地域人材・資源活用推進校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・泉津地区の伝統について 講師:福井 芳久氏 ・塩づくり:講師:HOME of HARMONY 株式会社 ・食べるということ 講師:前谷 壮紀氏 ・岡田地域の踊りについて 講師:杉山 克己氏 ・大島で働く人 講師:村田 学氏 長井 美代子氏 粕谷 浩之氏 (福)武蔵野会 第二大島恵の園様 小平 稜也氏 前田 ひとみ氏 武田 潤子氏 野村 果奈氏 ・養蜂について 講師:谷中 克弘氏

第一中学校	都	体育健康教育推進校事業	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムジャンプ 講師:山本 由枝氏 ・各種体育的行事への全生徒参加 ・ICTを活用した身体への理解の深化
-------	---	-------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【成果】

働くということをテーマに地域の仕事をしている方に話を聞き、自分の将来に希望を持ち、島の未来を考え、課題解決をめざす力を育てることができた。

健康で活気に満ちた生活を送るための、体力向上に向けた資質や能力を育成する取組が、効果的に行うことができた。

【課題と今後の方向性】

今後も各分野の資質向上を推進し、次世代の島の担い手となるグローバルな人材育成に取り組んでいく。

(31) 学校施設整備状況

工事名	事業費	内容
大島町立小中学校用 WSUS サーバの購入 【契約相手方】 株式会社内田洋行 【期間】 令和5年6月1日～ 令和5年9月30日	工事請負費 2,750,000 円	大島町立小中学校で使用していた WSUS サーバは 2017 年度に導入したものであり、製造元のサポートが受けられない状況になっている。WSUS サーバは Microsoft からの更新プログラムを受け取り、教員用 PC やタブレットの回線状況が遅くならないように管理しながら更新プログラムの配布を行っているものである。これが正常に働かなくなると更新プログラムのダウンロードや適応ができなくなったり、通信速度が遅くなったりするなど教育活動の妨げとなる恐れがあり、リプレイスするためにサーバを購入した。
第一中学校 深井戸 水中ポンプ交換 【契約相手方】 有限会社丸満工業 【工期】 令和5年4月20日 ～ 令和5年6月1日	工事請負費 1,613,700 円	第一中学校プールのろ過機修繕に当たり、現場を確認したところ、深井戸水中ポンプが故障していた。6 月から水泳の授業が始まるため、支障をきたすことのないよう、ポンプの交換を行った。

<p>第三中学校体育館照明器具改修修繕工事</p> <p>【契約相手方】 有限会社三光電気</p> <p>【工期】 令和6年3月11日 ～ 令和6年3月31日</p>	<p>工事請負費 1,499,300 円</p>	<p>第三中学校体育館の照明設備が落雷により一部故障してしまった。故障箇所を診断した結果8か所の照明器具が故障していることが判明した。学校教育活動を行ううえで支障をきたすうえに、避難所として指定されている防災上の拠点のため、修繕を行った。</p>
<p>大島町立第一中学校校舎くろしお学級雨漏り修繕工事</p> <p>【契約相手方】 有限会社タカタ防水</p> <p>【工期】 令和5年12月15日 ～ 令和6年3月30日</p>	<p>工事請負費 1,408,000 円</p>	<p>第一中学校くろしお学級前の廊下と階段踊り場は屋根防水シートの経年劣化により雨漏りが発生している。床が濡れて滑る危険性があり、特に肢体不自由の生徒にとって危険な環境となるため修繕を行った。</p>

【成果】

適宜学校施設の修繕を行い、子供の学習環境の安定に努めた。

【課題と今後の方向性】

学校施設の老朽化が進んでおり、定期的な更新及び大規模な改修が必要となる。令和6年度以降にさくら小学校、第三中学校体育館、第一中学校と大規模改修の計画があるため、適宜修繕を行いながら、今後の改修を見据え計画的な修繕も行っていく。

(32)給食センター係実施事業

①学校給食運営委員会(年2回)

開催日	内 容
R5.7.10とR6.2.27	<p>学校給食に関する給食費の説明、予算・決算、島内食材割合報告及び食材納入業者指定等について審議。</p> <p>委員数 13 名</p>

②給食センター調理等業務委託業者選定委員会(年1回)

開催日	内 容

R5.10.26	調理等委託業者が契約書仕様通りに業務遂行しているか検証・評価を実施、今後の契約等について審議。次年度以降契約については、検証評価の結果、令和5年度同様、一富士フードサービス(株)に決定。 委員数 11名
----------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------

【成果】

給食運営委員会については、委員13名中6校のPTA代表も委員であるため、子供達が食する給食がどのような食材を使用しているのか、1食分の給食完成までにいくら費用がかかるのか、理解を深めていただけた。選定委員会については、各校長の検証、評価のアンケート調査を会議で報告し、委員の意見等を踏まえ業者を選定できた。

【課題と今後の方向性】

令和6年度から大島町の施策として給食費無償化にしたが、持続可能な子育て支援策として継続できるよう努める必要がある。

(33)施設管理委託状況

委 託 名	年次支払回数	委託業者
自家用電気工作物保安業務委託	毎月+年次点検 1回	杉本電機管理事務所
排水処理施設保安点検等委託	年2回	株大島環境管理
冷凍冷蔵庫保守点検委託	毎月	カネコ冷熱(株)
ボイラー保守点検等委託	年3回	有吉田設備
牛乳冷蔵庫保守点検委託	年2回	カネコ冷熱(株)
調理機械設備保守委託	年3回	日本調理機(株)
浄化槽点検管理等委託	年2回	株大島環境管理
火災報知設備保守委託	年2回	有高松電気工業
業務用軟水装置	年3回	有吉田設備
換気扇清掃委託	年1回	カネコ冷熱(株)
空調設備機器保守委託	年4回	カネコ冷熱(株)

【成果】

定期的に保守点検業務を行っているため、安心安全な給食を提供できた。

【課題と今後の方向性】

設立当初に設置した調理機器、施設設備は老朽化が進み、修繕の頻度が多くなったため、計画的に機器の入れ替えを順に行う必要がある。

(34) 給食費の扶助

種 別	小学校	中学校	合 計
準要保護	36人 1,442,481円	20人 969,523円	56人 2,412,004円
特別支援教育 就学奨励費	4人 171,453円	2人 110,584円	6人 282,037円
合 計	40人 1,613,934円	22人 1,080,107円	62人 2,694,041円

【成果】

これまでどおり支援が行えた。

(35) 調理機器の維持・管理

- ①調理機器修繕、ボイラー燃料代、ガス代、調理用消耗品等購入
- ②備品購入費 第三中学校牛乳冷蔵庫購入【カネコ冷熱株】

【成果】

最低限必要な消耗品等や機能低下になった備品を不納になる前に計画的に購入する事ができ、問題なく給食を提供をできた。

【課題と今後の方向性】

調理器は大きな不具合が出る前に、保守点検を例年通り年3回行う必要がある。

(36) 賄材料の購入

- ①給食用材料の購入 主食副食材料 (105,496食)
- ②牛乳(飲用)200ml (102,645本)

【成果】

物価高騰により主食、副食、牛乳等の食材の価格が高騰したが、補助等を充当し、給食費の単価を現状維持できた。

【課題と今後の方向性】

物価高騰もあるが、教職員等の給食費の値上げは難しい。特別交付税や国、都の補助金等を活用。

(37) 学校給食費物価高騰対策

児童生徒、教職員等の給食費助成として賄材料費に補填

【成果】

物価高騰分の補助により大幅な給食費の値上げをせず、児童生徒、教職員等の負担軽減を図った。

【課題と今後の方向性】

物価高騰と並行して給食費の値上げは難しく、町の補助だけでは厳しい。

(38) 給食センター調理等業務委託

委託件名	委託費	内容	委託業者
大島町立学校給食センター調理等業務委託	62,066,400 円	調理、配送、配膳、片付け、残菜処理、施設管理等	一富士フードサービス(株)期間:令和5年4月1日~令和6年3月31日

【成果】

調理等の業務を民間企業に委託して9年目を迎えたが、安心安全でな給食の提供ができた。

昨年と同様に年度に1回業者選定委員会を開催し、各小中学校長や栄養士の検証、評価のアンケート調査を基に委託業者を決める。5年度の業者選定委員会アンケート調査の総合点数は、60点満点中53.8点と高得点であった。その結果、業務成績が良好につき、6年度も随意契約にて継続となる。

【課題と今後の方向性】

今後、委託業者の人材確保が懸念される。

3. 社会教育係実施事業

(1) 青少年委員の運営

青少年委員会議

委員数	任 期
7 名	令和 6 年 2 月 15 日～令和 8 年 2 月 14 日

【成果】

会議は年 1 回ではあるが委員協力のもと、成人式改め二十歳を祝う会をはじめ、青少年健全育成いきいき事業や雪国体験学習会と 3 事業を実施することができた。

【課題と今後の方向性】

人口減少に伴い子どもが少ない地域が出てきているので、今後は地域を纏めた活動を考えていかなければならない時期になってきた。

(2) 社会教育委員の運営

社会教育委員

委員数	任 期
3 名	令和 5 年 2 月 15 日～令和 7 年 2 月 14 日

【成果】

社会教育係のイベントの出席、協力をはじめ、諸会議にも出席し貴重な意見や指導をもらって社会教育係の業務を円滑に運行することができている。

【課題と今後の方向性】

課題としては、3 委員とも委員年数が長くなり、そろそろ後継者を考えなければならない時期に来ている。

(3) 文化財保護審議会の運営

文化財保護審議会

委員数	任 期
8 名	令和 5 年 12 月 22 日～令和 7 年 12 月 21 日

【成果】

町指定文化財の検討及び指定の協議を実施できた

【課題と今後の方向性】

島内の文化財的価値の有無と研究を図る必要がある

(4)文化財の保存

町指定文化財及び都指定文化財の整備

【成果】

文化財的価値の島民及び観光客への啓蒙

【課題と今後の方向性】

失われかけた文化財の掘り起こしと郷土資料館の一部展示替計画

(5)二十歳を祝う会

日 時：令和6年1月6日(土)午後2時開式

対象者：平成14年4月2日～平成15年4月1日出生者

出席者：男18名 女26名 計44名

【成果】

成人式から二十歳を祝う会に改めて、内容も立食パーティの復活や親御さんへの感謝の言葉など前年度より充実した会を行うことができた。

【課題と今後の方向性】

現在町主催で実施していて、今後しばらくの間はこの形を維持していくことになるが、将来的には成人者たちの企画等で実施していくことも検討すべきである。

(6)交流事業

令和5年度「やいづ少年の船」

日 時：令和5年7月26日(水)～28日(金)

参加者：焼津市内中学3年生 34名

【成果】

大島町のジオパークを焼津市の中学生に伝えることができた。

【課題と今後の方向性】

天気が一番心配される事業であるが、焼津市が実施する以上は引き続き協力していきたい。

(7) 青少年健全育成地域いきいき事業

区分	団体名	金額	内容
青少年健全育成地域いきいき事業補助	各地域	200,000	北の山地区 50,000 ・世代間交流活動 岡田地区 50,000 ・社会奉仕活動(地域環境美化活動) 元町地区 50,000 ・社会奉仕活動(地域環境美化活動) 野増地区 50,000 ・世代間交流活動

【成果】

現在 4 地区のみの実施ではあるが、子ども達の健全育成に貢献できる事業である。

【課題と今後の方向性】

人口減少に伴い、地域に子どもがいなくなっていくのが一番の問題であるが、今後は複数地域で実施することも考えていかなければいけない。

(8) 社会教育振興に対する助成

区分	団体名	金額	内容
島しょ交流大会参加費補助	大島町青年団体連絡協議会	0	島しょ交流大会へ参加するための参加費の助成(不参加)
PTA連合会運営費補助	大島町PTA連合会	76,000	研修会の参加等の助成
文化祭実行委員会補助	大島町文化祭実行委員会	640,000	・郷土芸能祭の開催 ・作品展の開催
文化協会運営費補助	伊豆大島文化協会	152,000	・宮川哲夫氏生誕百年記念事業
婦人団体指導者研修会補助	大島町婦人会	0	中止

【成果】

今年度は文化関係事業を充実することができた。

【課題と今後の方向性】

郷土芸能祭の参加者が年々減少しているので、今後は参加者増に繋がる企画を考えていきたい。

(9) 多摩・島しょ子ども体験塾

場 所： 都内施設(東京スカイツリー、東京オリンピックミュージアム他)

日 程： 令和5年8月19日～8月22日

参加者： 小学5年生 男14、女17 引率4 計35名

【成果】

コロナの影響でしばらく実施できなかったが久しぶりに実施でき、子供たちも貴重な経験ができた。

【課題と今後の方向性】

各島合同で実施しているが、来年度は大島町が幹事島なので交流を含め、実のある事業になるよう企画していきたい。

(10) 放課後子供教室推進事業 島内3教室で放課後子供教室を実施

元町地区 わいわい教室(生涯学習センター郷 内)

岡田地区 ともす教室(けんこうセンター 内)

差木地地区 てのひら教室(差木地地域センター 内)

【成果】

この3教室は放課後の子ども達の居場所として必要な教室であり、特に低学年の保護者からは、子どもを預けて働いていくうえでは貴重な教室とされている。

【課題と今後の方向性】

教室にもよるが、施設の老朽化対策が一番の課題であるため計画的に改善していきたい。

(11) 島外生徒受入事業

(仮称)学生寮実施設計等業務委託 5大委契第248号 18,810,000円

(仮称)学生寮建設工事に伴う地質調査業務委託 5大委契第424号 3,641,000円

(仮称)学生寮建設用地造成工事 5大請契第48号 31,412,477円

学生寮用地造成工事(追加) 5大請契第54号 2,641,000円

学生寮用地購入費 大島町元町字八重の水 244-3 3948.00㎡ 11,844,000円

【成果】

今年度は契約案件 5 件あったが年度内にすべて完了することができた。

【課題と今後の方向性】

寮建設、外構工事等整備するだけでなく、備品類等の購入、寮長の人選、食事面などまだまだ課題は山積みであるため、一つずつ計画的に処理したい。

(12) 雪国体験学習会

場 所 : 新潟県上越市大島区「庄屋の家」

日 程 : 令和 5 年 12 月 26 日～12 月 29 日

参加者 : 小学 6 年生 男 27、女 14、引率 11 計 52 名

【成果】

今年度も子ども達が雪国での生活、色々な体験、経験ができ無事帰島することができた。

【課題と今後の方向性】

温暖化の影響を受け毎回天気を心配し実施している。雪国体験の意義からも向き合って実施していかなければならない。

(13) 社会教育施設管理

① 開発総合センター年間利用人数

場 所	件 数	利用人数
大集会室	95	3,189
大会議室	54	1,640
研修室		
和 室	90	1,246
青年室	90	1,251
調理室	7	78
合 計	336	7,404

② 公民館年間利用人数

場 所	件 数	利用人数
北の山	271	2,363
泉 津	144	1,148
野 増	63	458
差木地	203	2,363

合 計	681	6,332
-----	-----	-------

③間伏文化会館年間利用人数

場 所	件 数	利用人数
間 伏	95	1,507

【成果】

利用件数等から住民の利用は多く必要性も高い施設である。

【課題と今後の方向性】

老朽化している施設が多く、対応しきれない施設もあるため、休館も含めた今後の方針を検討する時期に来ている。

(14)大島町図書館利用状況

	貸出件数	貸出冊数	新規登録者数
個人	5,558	24,205	207
団体	14	102	1
合計	5,572	24,307	208

※図書の所蔵数(システム登録数) 33,365 冊(令和6年3月31日現在)

【成果】

新図書館になってから利用率、貸出件数も増となった。

【課題と今後の方向性】

まだすべてシステム登録が終わっていないこと、及び必要蔵書数に達していないことから、引き続き登録、蔵書購入を計画的に実施したい。

(15) 地域センター利用状況

場 所	件 数	利用人数
北の山グラウンド	250	1,857
北の山体育館	362	2,912
泉津グラウンド	0	0
泉津体育館	101	1,026
野増グラウンド	89	1,780
野増体育館	537	3,700
差木地グラウンド	295	4,423

差木地体育館	119	684
波浮港グラウンド	9	175
波浮体育館	513	1,448
合 計	2,275	18,005

※野増地域センター体育館屋根補修工事 5 大請契第 47 号 2,202,175 円

【成果】

各体育館の利用率は高く、住民の健康増進に寄与している施設である。

【課題と今後の方向性】

どれも廃校施設なことから老朽化が進んでいる施設が多いため、今後の改修計画が課題である。

(16) 大島町郷土資料館

年間入館者数

有料:一般大人 1,641 人

一般:小人 91 人

団体:146 人、身障 43 人

観特:2 名

無料:81 人

合計 2,004 人

※郷土資料館雨漏り防水工事 5 大請契第 12 号 684,710 円

※郷土資料館スロープ補修工事 5 大請契第 55 号 498,000 円

【成果】

入館者数は満足のいく数字ではないが、大島の歴史を語るうえでは貴重な施設である。

【課題と今後の方向性】

老朽化のため毎年改修工事等行っているが、今後は移転を含めた改修計画を策定する必要がある。

(17) 大島町スポーツ推進委員の運営

大島町スポーツ推進委員 15 名 任期(令和 4 年 5 月 15 日～令和 6 年 5 月 14 日)

スポーツ推進委員の会議

開催日	内 容
R5.6.27	・第 67 回大島町体育祭水泳大会について ・小中学校での指導者派遣による「飛込み」指導について

	<ul style="list-style-type: none"> ・第 67 回大島町体育祭野球大会について ・大島町ジュニアスポーツフェスティバルについて ・東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会(第 11 ブロック)の開催について ・第 14 回全国離島中学生野球大会派遣について ・第 65 回全国スポーツ推進委員研究協議会について ・関東スポーツ推進委員研究大会について ・大島町地区体育連合会からの要望書について
R5.9.7	<ul style="list-style-type: none"> ・第 67 回大島町体育祭体育レクリエーション大会について ・第 67 回大島町体育祭駅伝競走大会について ・ジュニアスポーツフェスティバルについて ・関東スポーツ推進委員研究大会について ・東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会(第 11 ブロック)について
R6.1.23	<ul style="list-style-type: none"> ・第 67 回大島町体育祭体育レクリエーション大会の報告について ・第 67 回大島町体育祭駅伝競走大会の報告について ・第 67 回大島町体育祭野球大会(一般の部)の報告について ・第 64 回全国スポーツ推進委員研究協議会青森大会の報告について ・東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会(第 11 ブロック)の報告について ・第 67 回大島町体育祭野球大会(小学生の部)について

【成果】

スポーツ推進委員の協力のもと大島町体育祭は実施しているが、今年度も委員の活発な意見助言等を伺い大会を無事に実施することができた。

【課題と今後の方向性】

都内等の研修に行く機会が少ないため、他自治体推進委員との交流もなく委員の視野を広げることができない。今後はなるべく多くの委員が研修に行けるよう計画したい。

(18) 体育祭の実施

大会名	実施日	優勝等	場所
バレーボール大会(中学生の部)	R5.4.15	一中	第三中学校
野球大会(中学生の部)	R5.4.15	二中	第三中学校

バレーボール大会(婦人の部)	R5.5.14	北の山チーム	都立大島高等学校
ゲートボール大会	R5.5.21	元町Aチーム	伊豆大島ゲートボール場
水泳大会	R5. 8. 3		弘法浜サンセットプール
野球大会(一般の部)	R5.8.27～	野増ジャガース	大島町野球場
体育レクリエーション大会	R5.10.8	元町体育会	つばき小学校グラウンド
駅伝競走大会	R5.10.29	総合優勝 伊豆大島 Racing Team	泉津地域センター前～大島町陸上競技場
野球大会(小学生の部)	R6.3. 9	元町サンデーズ	つばき小学校グラウンド

【成果】

大島町体育祭は、住民の健康増進だけではなく町の活性化にも貢献することができる大会である。今年度はすべて実施することができた。

【課題と今後の方向性】

人口減少に伴い競技人口も減少し、大会を維持するのが難しい競技が出てきているため今後は大会の見直しも考えていかなければならない時期に来ている。

(19)陸上競技場・野球場

①大島町野球場利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	2	1	4	10	1	5	5	1	1	1	0	3	34
件数	2	1	4	11	1	5	5	1	1	1	0	3	35
人数	30	32	200	220	50	220	180	20	10	30	0	220	1,212

②大島町陸上競技場利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	2	1	10	2	1	4	9	4	2	0	6	8	63
件数	2	1	10	2	1	4	9	4	2	0	6	8	63
人数	40	80	156	56	58	41	186	88	120	0	310	126	1,210

③大島陸上競技場(サッカー場)利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	4	4	7	6	8	6	2	3	6	5	7	7	65
件数	5	4	8	6	10	6	2	3	6	5	8	7	70
人数	80	110	260	360	69	135	35	50	100	100	354	250	1,903

④大島トレーニングセンター利用者数

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
日数	7	24	25	29	24	23	24	22	24	11	25	22	260
件数	20	37	25	39	40	31	34	41	31	32	36	20	386
人数	29	45	31	74	76	56	67	82	69	64	65	42	700

【成果】

野球、サッカー等大会を開催するだけでなく、練習を行う上でもこの施設は有効に活用された。

【課題と今後の方向性】

グラウンドが広い、芝刈り、雑草等維持が大変である。また、波浮地区ということから施設に行くまでに時間を要するため毎日の管理が難しいので、近隣の関係者と調整し管理していくことに行きたい。

(20)社会体育振興に対する助成

区分	団体名	金額	内容
大島体育協会運営費補助金	大島体育協会	646,000 円	社会体育の振興と各種体育団体の健全なる育成、町民の体育の向上健康の増進並びに体育・スポーツ諸団体の連絡緩和を図る。
東京都駅伝競走大会参加費補助金	大島町立小中学校長会	296,000 円	東京都教育委員会の主催する中学校駅伝競走大会の参加者を支援するための補助

【成果】

この補助金は各競技団体の運営、遠征等にあたり大変有効な補助金である。

【課題と今後の方向性】

体育協会加盟団体増に伴い分配金が減になったこと、また、都中学生駅伝大会については、毎年、町駅伝大会優勝校が参加しているが、参加にあたり家庭にも負担が生じていることから、なるべく負担軽減を図る目的で予算増や新たな補助金等探していきたい。

V 有識者からの意見

大島町体育協会会長 立木 功 氏(元大島町立つばき小学校長)
大島町PTA連合会会長 長谷川 孝一 氏

- ・特別支援教室推進委員会や就学支援委員会の問題と今後の方向性について、教職員への特別支援教育(検査結果から読み取り方・指導・支援の仕方など)に関するより一層の「スキルアップ研修」の充実を図っていく必要がある。また、心理検査を実施できる臨床心理士の二人体制も考えていく必要性を感じる。※二人体制にすることで、検査が必要な時に受けられる可能性が高くなる。特別支援を推進していく一方、あわせてそれを個性と認め保護者に安心してもらえる説明など心得ていただきたい。
- ・いじめ問題連絡協議会について、児童・生徒に係る個人情報の問題もあるが、協議会で協議された内容など可能な範囲で公開し、いじめの早期発見・早期解決に繋げていただきたい。
- ・教育相談研修会と講演会の実施について、これまでPTA連合会と共催で講演会を行っていたが、出席した保護者の大半が各校のPTA役員であった。PTA役員以外の保護者の方々にも参加していただけるようPTA連合会と話し合っていたきたい。
- ・情報教育推進委員会の課題にあるよう、各校のネットワーク環境、特に回線の安定化は早急に対応していただきたい。学校ICT推進に対して大きな問題である。
- ・子どもたちの安全・安心について、島外地域で小学校入学前の児童が夏に置き去りにされ亡くなられたニュースを受け、スクールバス全車に置き去り防止安全装置を設置できたことはありがたい。一方、徒歩で通学する児童・生徒のスクールゾーンに歩道がない状況が一部あり、歩道の設置など前向きに検討していただきたい。
- ・公共施設(子どもや大人が使用する場所)等の定期点検並びに修繕を行っていくことが急務といえる。いつ起こるか分からない自然災害への対応、老朽化した施設の対応等、ハード面からの人命を守るための基盤づくりが必要であると考えられる。また、大島町陸上競技場・野球場の有効活用等について再考する必要があると考える。現在の活用頻度、整備状況等の確認を行い、島外からの利用団体の受入体制の再構築に取り組む必要がある。(すばらしい環境の中でのスポーツアイランド大島を目指して！)
- ・地球温暖化等による熱中症対策の一つとしての文化・スポーツ団体が活用する小・中学校の体育館のエアコン使用について、今後考えていく必要がある。今年度より、大島町並びに大島町教育委員会等の配慮により、島内各団体(児童・生徒対象)にエアコン使用が認められている。今後、スポーツアイランド大島として考えた時、屋内競技団体を誘致するにあたり、健康安全面も考慮する中でエアコン使用は不可欠となる。島内外問わずエアコン使用等の有料化を検討し、施設の維持費に充当させることも考えていただきたい。

